

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870103862
法人名	ティーエムコーポレーション
事業所名	すみれの里
所在地	松山市南高井町1808-4番地
自己評価作成日	H21年10月11日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載](#)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成 21 年 11 月 17 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

笑顔を絶やさず、笑いの絶えない生活が出来るように心がけています。
 明るいユニットになる様に力をいれている。
 玄関には明るい陽射しと四季おりおりの花を必ず植え、利用者さんの癒しになる様に努めてさらに動物も、すみれの里の一員として利用者さんをおむかえします。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームの母体法人は市内で複数のグループホームやデイサービス、有料老人ホームなどを運営しており、これらの事業所と相互に連携して利用者のケアの質の向上に努めている。ホームは開設から6年目を経過し、利用者は職員と共に落ち着いた生活を送っている。管理者は、利用者にとってホームは施設でなく「家庭」であるという信念のもと、その特色を出すことに職員と共に努めている。玄関先には季節の草花を植え、ネコやウサギがホームの一員として利用者の心を和ませている。利用者が居心地よく安心して過ごせるよう、また、その人の思いを大切にするために、言いたいことが言える雰囲気づくりに余念がない。利用者に寄り添いそっと声をかけている職員には、親を思うような優しさを感じられる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 すみれの里

(ユニット名) かりんと

記入者(管理者)

氏名 若松紀代

評価完了日 年 月 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 取り組んでいくように努力していきたい。</p> <p>(外部評価) 法人内の関係事業所の全職員からアンケートを取って法人本部でまとめた理念を掲げており、地域との関わりの中でその人らしい生活を支援していくことを理念としている。職員は、常に「利用者と同じ視線を持ちながら、明るい笑顔で接する」ことをモットーにしている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) 企業としての町内会への参加。又イベントなどへの参加を心がけている。</p> <p>(外部評価) ホームでの夏祭りやクリスマス会等に地域の方を招待する等の取り組みが始まったばかりである。地域との交流はスタートしているが、利用者が近隣住民と近所つきあいができているとまでは言えない。</p>	ホームのイベント時には地域の方に呼びかけて交流を心がけ、普段着のつきあいができる関係性を築くよう努めることを望みたい。また、近隣住民を招いてのちょっとしたお茶会を開催する等、利用者とおふれあう時間を確保する取り組みにも期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 活かせるよう努力している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に一回の地域運営委員会にて行事とうの報告、 及び	
			(外部評価) 会議は定期的開催し、ホームの現状報告やイベント 開催のお知らせなどを行っている。委員からの意見を得 る努力をしているが、会議の形式にややとられ過ぎ ている感があり、利用者のサービスに直結する身近な 話し合いができていないとまでは言えない。	運営推進会議の議事録からは、委員におやつの試食を してもらったり、イベントと併せて開催するなど、少 しづつ柔軟な対応が行われていることがうかがえる。 今後は利用者と直接会話する機会を増やすことや、消 防署や交番に向けてホーム・利用者への理解を深めて もらう取り組み等を期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価) わからない事があれば、積極的に相談するように努力 している。	
			(外部評価) 市の担当者とは、運営推進会議を通して利用者の入居 に関することや手続き、生活上の課題などについて相 談するなど、日頃から連携に努めている。声をかけ、 ホームのイベントにも出席してもらっている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正しく 理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 十分に理解し、取り組んでいる。	
			(外部評価) 管理者は、身体拘束についての弊害と安全確保という 両面を絶えず意識したケアを提供するよう心がけてい る。職員にも同様の指導が行われているが、若い職員 が多いホームであるだけに、外部研修会等への参加が 必要な時期でもある。	サービス評価ガイドの読み合わせや外部研修会への参 加など、さらに職員のスキルアップに取り組むことを 期待したい。

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 十分に理解している。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 本、その他にて知識を得ている。又研修など、学ぶ機会を得るようにしている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 納得できるように十分に説明している。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を設置。その他苦情報告書等で報告。 (外部評価) 管理者や職員は、家族の来訪時には意見等を聞き取る等、早急に対応するよう努めている。また、来訪の少ない家族については、利用者の近況報告を行う中で意見に耳を傾けている。しかし、家族との付き合いが長くなってきているため、新たな意見が少なくなっている状況にある。	家族の意見は、ホームの運営や日々のケアに有用であるため、段階に応じて意見を聴取する等、工夫されるよう期待したい。

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月一度の会議にて職員の意見を聞いている。 (外部評価) 管理者もケアに携わっているため、職員と話し合う時間や場面が多く、コミュニケーションが図られている。月1回のミーティングでは介護計画や事例検討等について話し合いを重ねている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 努めている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 生育する意味での短期間の移動などがある。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) しっかりとお話しを聞くように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入所前に出来るだけ家族様とお会いする機会を作っている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 努力している。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 料理など教えていた抱いたり、色々な知恵をお借りしている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 色々な話を聞き、信頼関係を築いて行っている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 努力している。	
			(外部評価) 昔から利用している美容院に職員が同行するなど、利用者の人間関係や地域・社会との関係の把握に努め、個々の希望に添うよう対応している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 職員が間に入り関係を持っていただくように心がけている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 必要に応じて支援している。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の希望に添えるように努力している。 (外部評価) 利用者一人ひとりの思いや言いたいこと、望むこと等を察知し、できることを引き出す支援に努めている。本人の希望に添えるよう努力しているが、職員が個々に把握した情報の記録が統一されていないため、ホーム全体で共有化が図られていないとまでは言えない。	利用者の生活歴は貴重な財産であるため、古い記録もいつでも確認できるよう、また勤務中での記載になるため簡単に記録できるように、統一された用紙に記録できるよう工夫することを期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所前に、ご家族様、本人様に詳しくお話を聞いている。その後得られて情報は、その都度全員で共有している。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 会議などで話し合い。現状の把握に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 全員で意見を出し合い、プランを作っている。今後は家族とも話し合いプランの参考にしたいと思っている。	
			(外部評価) 利用者ごとに職員が担当制になっており、その担当者と管理者、ユニット長が意見を出し合って、利用者や家族の思いを反映した介護計画を作成している。また、現状に応じて計画の見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 介護記録、申し送りノートで情報を共有している。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 今までのサービスは訪問マッサージ位しか利用がありません。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 近くのパン屋さんなど一緒に歩いて買い物に行ったりしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価) かかりつけ医のある方は定期的に受診していただ いき、今後事なども相談している。又、かかりつけ 医がない方に関しては協力医療機関に手対応して 頂いている。</p> <p>(外部評価) 通院介助は職員が行っているが、本人の希望する かかりつけ医への受診が多く、対応には苦慮して いる。複数の医療機関との対応については、管理 者が担っている。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価) ユニット全員で情報を共有している。看護職員 は日頃の健康管理及び、可能な限りでの病院受 信などに対応してくれている。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価) 利用者さんが、主に入院する病棟も決まっ ていて看護士さんとも顔なじみで、カンファ レンスにも呼んでいただいている。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説 明しながら方針を共有し、地域の関係者と 共にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価) よく話し合い全員で方針を共有している。入 居の時に終末期と同迎えるか、希望をお聞 きしてもよいかとおもっている。</p> <p>(外部評価) 看取りのマニュアルを作成しており、重度 化や終末期には、医療機関の訪問診療や訪 問看護で対応することとなっている。本人 や家族の意思を尊重しながら、繰り返し 話し合い、方針を共有している。</p>	職員は看取りに関して不安を持っているため、職員の精神的ケアや丁寧な研修の積み重ねを継続することを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) ミーティングなどで常に話題に上げ勉強している。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 非難訓練等、定期的に行っている。又、運営推進委員会などで話題に上げ、地域の人への協力もお願いしている。 (外部評価) 避難訓練は消防署の協力を得て年2回行っており、その際には地域への協力も依頼している。また、平成22年度にスプリンクラーの設置も予定しており、利用者への安全に配慮した取り組みをすすめている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 個人に合った方法で対応をしている。 (外部評価) 自力でゆっくり食事する利用者を急かすことなく見守り、利用者の誇りやプライバシーに配慮したトイレ誘導をするなど、一人ひとりを尊重した丁寧な言葉かけや態度で接している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 個人の意見を尊重し、自己決定出来る様に支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 本人様の希望に添えるよう努力、支援している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) その人らしさを大切に支援している。お化粧するのがお好きな方には毎日ではないが、時々お化粧して楽しんで頂いている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 負担にならない程度と一緒に調理など行っている。又、好きな食べ物などメニューに取り入れている。食事形態は個々に合わせ、きざみ食、ミキサー食等で対応。	
			(外部評価) 職員が会話のきっかけや話題を提供し、利用者同士が楽しく食事できる雰囲気づくりをしている。会話もはずみ、楽しいひと時となっている。利用者からのリクエストがあればメニューを変更することもある。食事制限がある方や支援の必要な利用者には、職員が横に座ってさりげなく支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量、水分量共に毎回記録し、個人に対応している。体重増加の方には、減量を試みて頂いている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、個々に応じたケアをしているが、口腔ケアするのが嫌な方には、うがいだけでもして頂いている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) トイレ誘導などの時間は決まってはいるが、排泄管理表にて排泄パターンの把握に努め、個人に合った支援を心がけている。	
			(外部評価) 利用者の排泄パターンを把握することに努め、極力トイレでの排泄を促すように声かけを行っている。利用開始時にはオムツを使用していた利用者も、現在ではほとんどのの方がトイレでの排泄が可能となっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 便秘していても、薬に頼るだけではなく運動、食事にも配慮している。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 希望のある方は希望されたときに入浴していただいている。又、訴えない方については、こちらで日時を指定しているが、入る入らないは自己決定していただいている。	
			(外部評価) 毎日の入浴を基本にしている。一番風呂を好む方にはその希望にそって対応し、入浴を拒む方には言葉かけや時間帯を工夫するなど、一人ひとりに合わせた入浴支援に努めている。特殊浴槽の設備もある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 寝る前の習慣等を把握して、家と同じ様に出来る様に支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個人の服薬シートがあり職員全員把握している。又変更あればその都度申し送りノートにて連絡している。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) それぞれの得意なことを把握。気分転換できるように努めている。お化粧好きな方には、その日の気分で、して頂き気分転換を図っている	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 季節ごとのイベント、買い物などを企画している。希望あれば個別に買い物や、散髪などに出かけている。	
			(外部評価) イチゴ狩りや花見など、気分転換や五感の刺激を得られる外出を計画して実施している。また、散髪や受診など個別の支援もしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 金銭は施設預かりとなっている。買い物へ出た際にはお金をお渡し、購入していただいている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者が、親戚に手紙を出してほしいと言われたら、住所を書くときにお手伝いして、出している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 玄関には季節の花を植えるなどして心むふいんき作りを心がけている。又、廊下、リビングは昼間でも暗くならないように電気をつけるようにしている。</p> <p>(外部評価) 玄関先には季節の草花を植え、廊下の壁には利用者の写真や作品を飾っている。共用空間は適度な広さで、利用者が何処にいても動きが確認できる。利用者は日中ほとんどリビングで過ごしている。大きな窓から光が入り、居心地良く過ごせる空間となっている。</p>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価) リビングにはソファを2個置き利用者同士が仲良く使用して頂き、気の合った利用者さん同士がゆっくりお話出来る様に支援している。</p>	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) ご本人、家族様と相談しながら使い慣れたものや、思いいれのある物などを活かして、利用者様が居心地よく過ごせるように工夫している。</p> <p>(外部評価) 家族の協力を得ながら使い慣れた小タンス、テレビ、仏壇等が持ち込まれ、本人や家族の写真が飾られ、居心地よく過ごせる居室となっている。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価) 廊下、トイレ、風呂場などに手すりをつけている。出来る事には手を出さず見守り、最後までしていただけるように声かけを行っている。</p>	

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870103862
法人名	ティーエムコーポレーション
事業所名	すみれの里
所在地	松山市南高井町1808-4番地
自己評価作成日	H21年10月11日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載](#)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成 21 年 11 月 17 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

季節ごとに、お出かけも出来る限りたくさん行っている。職員はいつも笑顔で、笑い声が絶えない。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームの母体法人は市内で複数のグループホームやデイサービス、有料老人ホームなどを運営しており、これらの事業所と相互に連携して利用者のケアの質の向上に努めている。ホームは開設から6年目を経過し、利用者は職員と共に落ち着いた生活を送っている。管理者は、利用者にとってホームは施設でなく「家庭」であるという信念のもと、その特色を出すことに職員と共に努めている。玄関先には季節の草花を植え、ネコやウサギがホームの一員として利用者の心を和ませている。利用者が居心地よく安心して過ごせるよう、また、その人の思いを大切にするために、言いたいことが言える雰囲気づくりに余念がない。利用者に寄り添いそっと声をかけている職員には、親を思うような優しさを感じられる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

評価完了日

年 月 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) まず地域の方と挨拶する機会お増やし、職員一人一人が自覚を持ち、実践につなげている様努力している。</p> <p>(外部評価) 法人内の関係事業所の全職員からアンケートを取って法人本部でまとめた理念を掲げており、地域との関わりの中でその人らしい生活を支援していくことを理念としている。職員は、常に「利用者と同じ視線を持ちながら、明るい笑顔で接する」ことをモットーにしている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) 日常的となるまでは、ほど遠いけど一応それを目指して努力している。</p> <p>(外部評価) ホームでの夏祭りやクリスマス会等に地域の方を招待する等の取り組みが始まったばかりである。地域との交流はスタートしているが、利用者が近隣住民と近所づきあいができているとまでは言えない。</p>	ホームのイベント時には地域の方に呼びかけて交流を心がけ、普段着のつきあいができる関係性を築くよう努めることを望みたい。また、近隣住民を招いてのちよつとしたお茶会を開催する等、利用者とお茶会を確保する取り組みにも期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 努力はしているが難しい</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) まだ運営推進会議を活かしきれてない。アドバイスは頂いてサービスに反映させている。	運営推進会議の議事録からは、委員におやつを試食をしてもらったり、イベントと併せて開催するなど、少しずつ柔軟な対応が行われていることがうかがえる。今後は利用者と直接会話する機会を増やすことや、消防署や交番に向けてホーム・利用者への理解を深めてもらう取り組み等を期待したい。
			(外部評価) 会議は定期的開催し、ホームの現状報告やイベント開催のお知らせなどを行っている。委員からの意見を得る努力をしているが、会議の形式にややとらわれ過ぎている感があり、利用者のサービスに直結する身近な話し合いができていないとまでは言えない。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 地域運営推進会議などで顔をあわせる機会の増えている。必要であれば、電話で相談している。	市の担当者とは、運営推進会議を通して利用者の入居に関することや手続き、生活上の課題などについて相談するなど、日頃から連携に努めている。声をかけ、ホームのイベントにも出席してもらっている。
			(外部評価) 市の担当者とは、運営推進会議を通して利用者の入居に関することや手続き、生活上の課題などについて相談するなど、日頃から連携に努めている。声をかけ、ホームのイベントにも出席してもらっている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関の施錠を含め身体拘束をしないケアを施行している。	サービス評価ガイドの読み合わせや外部研修会への参加など、さらに職員のスキルアップに取り組むことを期待したい。
			(外部評価) 管理者は、身体拘束についての弊害と安全確保という両面を絶えず意識したケアを提供するよう心がけている。職員にも同様の指導が行われているが、若い職員が多いホームであるだけに、外部研修会等への参加が必要な時期でもある。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修があれば、参加したい。会議などで虐待がない様 にしっかり話しあっている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や 成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、それら を活用できるよう支援している	(自己評価) 研修の費用として月ユニットごとに決められた費用が ある。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用 者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な 説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約に至るまでにしっかり話し合う事が出来ているし 説明も十分している。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職 員並びに外部者へ表せる機会を設け、それ らを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議に家族の参加を促し、家族の意見として 会議で検討している	
			(外部評価) 管理者や職員は、家族の来訪時には意見等を聞き取る 等、早急に対応するよう努めている。また、来訪の少 ない家族については、利用者の近況報告を行う中で意 見に耳を傾けている。しかし、家族との付き合いが長 くなってきているため、新たな意見が少なくなってい る状況にある。	家族の意見は、ホームの運営や日々のケアに有用であ るため、段階に応じて意見を聴取する等、工夫される よう期待したい。

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の見 意見や提案を聞く機会を設け、反映させてい る	(自己評価) 運営に関する職員の見 意見は月2回の会議に、全員の 意見として発表している。 (外部評価) 管理者もケアに携わっているため、職員と話し合う時 間や場面が多く、コミュニケーションが図られてい る。月1回のミーティングでは介護計画や事例検討等 について話し合いを重ねている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実 績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時 間、やりがいなど、各自が向上心を持って 働けるよう職場環境・条件の整備に努めて いる	(自己評価) 勤務状況は把握している。個々の能力も把握して各自 が仕事で気安い環境づくりをしている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケア の実際と力量を把握し、法人内外の研修を 受ける機会の確保や、働きながらトレー ニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修の費用として月ユニットごとに決められた費用が ある。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流す る機会をつくり、ネットワークづくりや勉 強会、相互訪問等の活動を通じて、サー ビスの質を向上させていく取組みをして いる	(自己評価) 石井地区のグループホームの協議会があり、参加して 交流をはかっている。	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が 困っていること、不安なこと、要望等に耳 を傾けながら、本人の安心を確保するた めの関係づくりに努めている	(自己評価) 利用を開始する前には、本人と面談する機会を必ず設 け可能であれば、施設見学する機会をつくる。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 要望等は必ず聞いて、要望を叶える事が出来ないようだったら、サービスの利用を再検討させて頂くようにしている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) サービスを開始する時は、家族と相談して今現在必要としているサービスを受ける様努力している。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 同じ釜の飯を食べる仲間としての関係づくりを作るような努力をしている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 外泊やお出かけを積極的に進めている。家族の負担にならない程度に。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 以前勤めていた職場の方が尋ねて来られた方がいます。 友達から時々お電話がかかってくる、尋ねてきて愉しそうにお話されることもあります。 (外部評価) 昔から利用している美容院に職員が同行するなど、利用者の人間関係や地域・社会との関係の把握に努め、個々の希望に添うよう対応している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 午後にみんなで集まってゲームしたりして、利用者さん同士が関わり合える様に勤めている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院退所された方には、時折家族の了解の下に面会に行っている。必要であれば相談にも応じます。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 希望や意向等は、その利用者さんからしっかりお聞きして、困難な場合は家族からお聞きする様にしている。 (外部評価) 利用者一人ひとりの思いや言いたいこと、望むこと等を察知し、できることを引き出す支援に努めている。本人の希望に添えるよう努力しているが、職員が個々に把握した情報の記録が統一されていないため、ホーム全体で共有化が図られていないとまでは言えない。	利用者の生活歴は貴重な財産であるため、古い記録もいつでも確認できるよう、また勤務中での記載になるため簡単に記録できるように、統一された用紙に記録できるよう工夫することを期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居の時に、出来るだけ詳しく生活歴の把握に努めているが、その後日々の会話の中でも知りえた情報は、アセスメントに記入する様にしている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 職員の情報を元にその人がどうしたら、落ち着いてすごせるかを、話し合っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 介護計画は会議の中で話し合い、話し合った事を参考にプランをつくっている。家族の希望もプランの中にとりいれて作成している。 (外部評価) 利用者ごとに職員が担当制になっており、その担当者と管理者、ユニット長が意見を出し合って、利用者や家族の思いを反映した介護計画を作成している。また、現状に応じて計画の見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 去年からの課題せはあるが、こんなこと使用という明確なものがまだできてない。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 利用者、家族が望まれば、サービスに対応しようと思っている。現在使っているサービスは、訪問リハ位です、	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 地域の散髪屋さんをお願いして、営業時間の間で出張カットしてもらっている。地域の行事は積極的に参加している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価) かかりつけ医は、個々の利用者の家族の希望を尊重し ている。協力医療機関があっても、家族がのぞめば、 受診している。</p> <p>(外部評価) 通院介助は職員が行っているが、本人の希望するかか りつけ医への受診が多く、対応には苦慮している。複 数の医療機関との対応については、管理者が担ってい る。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価) 今訪問看護うけている利用者さんがいますが、その利 用者さんの情報を看護職員がいないときはきちんと伝 えてられている。病院受診も同行している。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価) 利用者が入院された場合は、カンファレンスに参加さ せて頂き、少しでも早く退院出来る様に支援してい る。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価) 利用者さんが重度化した場合は、家族の方と終末期は どうするかについて話し合い、必ず文書に残すように している。色んな場合を想定して、話し合っている。</p> <p>(外部評価) 看取りのマニュアルを作成しており、重度化や終末期 には、医療機関の訪問診療や訪問看護で対応すること となっている。本人や家族の意思を尊重しながら、繰 り返し話し合い、方針を共有している。</p>	職員は看取りに関して不安を持っているため、職員の精神的ケアや丁寧な研修の積み重ねを継続することを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 事故対応のマニュアルに沿って対応出来る様に、マニュアルは目につきやすい所に置いている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回の避難訓練を施行して、他の火事のニュースなどあれば、職員全員で話し合っている。 (外部評価) 避難訓練は消防署の協力を得て年2回行っており、その際には地域への協力も依頼している。また、平成22年度にスプリンクラーの設置も予定しており、利用者への安全に配慮した取り組みをすすめている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 人前でのトイレの声掛け等避けて、嫌がる事は出来るだけ止めている。 (外部評価) 自力でゆっくり食事する利用者を急かすことなく見守り、利用者の誇りやプライバシーに配慮したトイレ誘導をするなど、一人ひとりを尊重した丁寧な言葉かけや態度で接している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 自己決定出来るように、支援している。朝食を毎日パンが良いと言われる利用者には、毎朝パンをお出ししている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 今日は天気がいいから散歩に行きたいと言われたら、出来るだけ希望に添える様に、している。朝は決められた時間に起きるのではなく、個々の目を覚まされる時間に、起きて頂いている。その人らしく過ごせる様に支援している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 美容室でパーマ、カット、カットしている。その都度おつれしている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者に出来る事は手伝って頂いている、例えば引き膳、台拭き等、利用者の体調に合わせて一緒にしている。	
			(外部評価) 職員が会話のきっかけや話題を提供し、利用者同士が楽しく食事できる雰囲気づくりをしている。会話もはずみ、楽しいひと時となっている。利用者からのリクエストがあればメニューを変更することもある。食事制限がある方や支援の必要な利用者には、職員が横に座ってさりげなく支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 今現在体重を減らしてくださいという医師の指示にもとづいて2人が、減量中です。一人は、良質の蛋白質を摂ってくださいという医師の指示にて、支援しています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後口腔ケアを施行し、口の中を観察している。重症の人は週1回の衛生士による、有料の口腔ケアの実地	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 失禁を減らすように、オムツを替えたり、ユニット会議等で話しあっている。	
			(外部評価) 利用者の排泄パターンを把握することに努め、極力トイレでの排泄を促すように声かけを行っている。利用開始時にはオムツを使用していた利用者也、現在ではほとんどの方がトイレでの排泄が可能となっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 便秘症の人は、食物繊維の多い食べ物と取って頂く様に支援している。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの希望を出来るだけ叶えるように、努力している、入浴拒否がある人は、本人の了解が得られないときは、入浴延期している。	
			(外部評価) 毎日の入浴を基本にしている。一番風呂を好む方にはその希望にそって対応し、入浴を拒む方には言葉かけや時間帯を工夫するなど、一人ひとりに合わせた入浴支援に努めている。特殊浴槽の設備もある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) その人、状況に応じて昼間でも、ベッドに休んでもらって休息をとって頂いている。個人によって就寝時間もちがう。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬のカードがあり、個々の種類がかいてある。副作用については、薬剤情報の紙が格引き出しに入っている。参考にしている	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 外出が好きな方は	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 季節がよく、天気の良い時には屋外に散歩をしている。個人の希望には、時間とスタッフがいれば叶える様にしている。	
			(外部評価) イチゴ狩りや花見など、気分転換や五感の刺激を得られる外出を計画して実施している。また、散髪や受診など個別の支援もしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) スーパーに買い物に行った時は財布を個人に持って頂いて支払いして頂く様にしている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話の取次ぎは、長電話にならないように配慮して頂くようであれば、お受けしているし手紙も何回か一緒にコンビニに出しに行っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 玄関には季節の花を、植え季節感を取り入れている。共有空間は、毎日掃除をして不愉快にならないようにつとめている。	
			(外部評価) 玄関先には季節の草花を植え、廊下の壁には利用者の写真や作品を飾っている。共用空間は適度な広さで、利用者が何処にいても動きが確認できる。利用者は日中ほとんどリビングで過ごしている。大きな窓から光が入り、居心地良く過ごせる空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファを共有空間において、話し合える場所作りをしている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入居前の面談もしくは、家族との話し合いの中で家族に必ず伝える事の一つとしている。が家族が何も用意しない人もいる。	
			(外部評価) 家族の協力を得ながら使い慣れた小ダンス、テレビ、仏壇等が持ち込まれ、本人や家族の写真が飾られ、居心地よく過ごせる居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	